

平成 16 年 5 月 21 日

各 位

京セラ株式会社

取締役社長 西口 泰夫

(コード番号 6971 東証・大証第 1 部)

株式会社神戸製鋼所

取締役社長 犬伏 泰夫

(コード番号 5406 東証・大証・名証第 1 部)

会社分割による医療材料事業部門の分社化のお知らせ

平成 16 年 4 月 28 日にお知らせしました京セラ株式会社（以下「京セラ」）と株式会社神戸製鋼所（以下「神戸製鋼所」）との医療材料事業分野での統合につき、平成 16 年 5 月 21 日開催の両社取締役会において、平成 16 年 9 月 1 日を期して、下記の通り両社の医療材料事業を会社分割し、共同で新設する日本メディカルマテリアル株式会社（以下「新設会社」）に承継させることを決定しましたのでお知らせします。

記

1. 会社分割の目的

現在、高齢者に多い変形性関節症や慢性関節リウマチ等の治療に用いられる人工関節分野における国内の市場規模は約 735 億円で、中でも海外メーカーは欧米における豊富な臨床経験をもとに約 40 年前から日本市場に参入し、現在、同分野において過半のシェアを占めています。（2002 年データ：矢野経済研究所）。一方、多くの国内医療機関からは、かねてより日本人の体形や生活様式にあった人工関節の開発要望があり、これまで京セラ、神戸製鋼所とも各々の材料特性や加工技術等を活かして供給してまいりました。

今後さらに本格化する高齢化社会を迎えるにあたって、益々拡大する市場のニーズを的確に捉え、より優れた製品を供給していくため、主力の人工関節分野において国内トップ 2 社の双方の強みである、京セラが有するセラミック材料と加工技術等、及び神戸製鋼所が有するチタン合金への知見とその加工技術等との融合と、開発・製造・営業部門の統合によるシナジー効果を発揮することで、世界でも類を見ないメディカルマテリアルの専門会社として、日本国内はもとより、アジア全域、ひいてはグローバル展開へとワールドワイドに事業を行っていくことを目的として行うものです。

2. 会社分割（簡易分割）の要旨

（1）分割の日程

会社分割承認取締役会 平成 16 年 5 月 21 日

分割計画書作成 平成 16 年 5 月 21 日

会社分割期日	平成 16 年 9 月 1 日 (予定)
分割登記日	平成 16 年 9 月 1 日 (予定)

(2) 分割方式

分割方式

京セラおよび神戸製鋼所を分割会社とし、新設会社を承継会社とする簡易手続きによる共同新設分割(分社型)

当分割方式を採用した理由

従来からの会社設立、営業譲渡方式に比して機動的に事業譲渡、新会社設立ができるため、当方式を採用しました。

(3) 株式の割り当て

株式割当比率

新設会社設立時における京セラおよび神戸製鋼所の新設会社に対する持株比率は各々77%および23%とする。新設会社は設立に際して普通株式50,000株を発行し、京セラに38,500株、神戸製鋼所に11,500株をそれぞれ割当交付します。

株式割当比率の算定根拠

京セラおよび神戸製鋼所の分割事業について、分割事業部門の事業計画をベースに収益還元法で算出した事業価値、分割事業部門に関連する資産額、分割事業部門の利益額、その他諸般の事情を総合的に勘案した上で、京セラと神戸製鋼所が交渉・協議を行い算定しました。

(4) 分割交付金

分割交付金は支払わないものとします。

(5) 承継会社が承継する権利義務

承継会社が承継事業を遂行する上で必要と判断される承継事業に関わる資産・負債およびこれに付随する権利・義務を承継するものとします。

(6) 債務履行の見込み

本分割により、京セラ、神戸製鋼所および新会社の負担すべき債務の履行の見込みがあると判断しています。

(7) 承継会社に新たに就任する役員

取締役	西口 泰夫
取締役	佐野 健次
取締役	芦田 秀雄

取締役 津田 知博
 取締役 興松 英昭
 取締役 梅村 正廣
 取締役 佐藤 廣士

監査役 波戸 浩
 監査役 明石 靖夫
 監査役 石田 秀樹

3. 分割会社の概要（平成 16 年 3 月 31 日現在）

(1) 商号	京セラ株式会社（分割会社）	株式会社神戸製鋼所（分割会社）
(2) 事業内容	ファインセラミック関連事業 電子デバイス関連事業 機器関連事業 その他の事業	鉄鋼・溶接、アルミ・銅、都市環境、エンジニアリング、機械、不動産等の事業
(3) 設立年月日	昭和 34 年 4 月	明治 44 年 6 月
(4) 本店所在地	京都市伏見区	神戸市中央区
(5) 代表者	取締役社長 西口 泰夫	取締役社長 犬伏 泰夫
(6) 資本金	115,703 百万円	218,163 百万円
(7) 発行済株式総数	191,309,290 株 (内、自己株式 3,825,037 株)	2,976,070,294 株 (内、自己株式 1,460,462 株)
(8) 株主資本	1,029,738 百万円	342,738 百万円
(9) 総資産	1,241,012 百万円	1,411,731 百万円
(10) 決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(11) 従業員数	13,604 名	8,586 名
(12) 主要取引先	仕入先 松下電器産業(株)、三井物産(株)、ソニー(株) 販売先 富士通(株)、(株)日立製作所、日本電気(株)	鋼材、溶接棒、アルミ・銅圧延品、各種プラント、機械類等を広く国内外の需要家に販売
(13) 大株主及び持株比率	<ul style="list-style-type: none"> ・日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)(信託口) 8.72% ・日本マスタートラスト 信託銀行(株)(信託口) 6.63% ・(株)京都銀行 3.86% ・稲盛和夫 3.64% 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)(信託口) 6.82% ・日本マスタートラスト 信託銀行(株)(信託口) 6.47% ・日本生命保険(相) 4.74% ・(株)みずほコーポレート

	・(財)稲盛財団	2.50%	銀行	2.36%
			・新日本製鐵(株)	1.80%
			・住友金属工業(株)	1.80%
			・(株)UFJ銀行	1.76%
(14) 主要取引銀行	(株)京都銀行 (株)UFJ銀行		(株)みずほコーポレート銀行 (株)UFJ銀行 (株)三井住友銀行	
(15) 分割会社間の関係	資本関係：なし			
	人的関係：なし			
	取引関係：特記すべき取引はない			

(16) 最近3決算期間の業績

(単位：百万円)

決算期	京セラ株式会社 (分割会社)			株式会社神戸製鋼所(分割会社)		
	平成14年 3月期	平成15年 3月期	平成16年 3月期	平成14年 3月期	平成15年 3月期	平成16年 3月期
売上高	499,264	482,834	494,035	793,952	807,231	801,118
経常損益	56,412	54,685	61,788	4,010	20,263	25,251
当期純損益	34,475	27,923	60,663	20,991	4,859	15,884
1株当たり 当期純損益	182.36円	149.45円	324.70円	7.39円	1.67円	5.34円
1株当たり 配当金	60.00円	60.00円	60.00円	-	-	1.50円
1株当たり 株主資本	4,652.07 円	4,676.97 円	5,492.08 円	108.93円	105.35円	115.22円

4. 分割する事業部門の内容

(1) 分割事業部門の内容

医療機器およびその原材料又は部分品についての研究開発、製造および販売に関する営業、健康食品の卸に関する営業、その他関連付帯する事業

(2) 分割事業部門の平成16年3月期における経営成績 (単位：百万円)

京セラ

	分割事業部門(a)	当社平成16年3月 期実績(b)	比率(a/b)
売上高	10,031	494,035	2.0%

神戸製鋼所

	分割事業部門(a)	当社平成16年3月 期実績(b)	比率(a/b)
売上高	2,832	801,118	0.35%

(3) 分割事業部門の資産、負債の項目および金額(平成16年3月31日現在)

京セラ

(単位：百万円)

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
資産	7,237	負債	672
合計	7,237	合計	672

神戸製鋼所

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
資産	2,845	負債	279
合計	2,845	合計	279

(4) 承継会社の概要

(1) 商号	日本メディカルマテリアル株式会社(予定)
(2) 事業内容	医療機器およびその原材料又は部分品の製造、販売並びに研究 医療機器およびその部分品の賃貸 健康食品の卸および小売業 その他関連付帯する事業
(3) 設立年月日	平成16年9月1日(予定)
(4) 本店所在地	大阪府大阪市
(5) 資本金	2,500百万円
(6) 発行済株式総数	50,000株
(7) 決算期	3月31日
(8) 大株主及び持株比率	・京セラ株式会社 77% ・株式会社神戸製鋼所 23%
(9) 分割会社との関係	資本関係：(8)に記載のとおりです。 人的関係：京セラより取締役5名・監査役2名、神戸製鋼所より取締役2名・監査役1名が就任します。 取引関係：京セラおよび神戸製鋼所より人工関節等の材料を新設会社に供給する予定です。

5 . 分割後の当社の状況

(1) 商号、事業内容、本店所在地、代表者、資本金、決算期
京セラ、神戸製鋼所いずれも分割による変更はありません。

(2) 総資産
京セラ、神戸製鋼所ともに承継会社に承継する負債の額だけ減少します。

(3) 業績に与える影響
京セラ、神戸製鋼所ともに、本件分割後、当社の経営成績および財政状態に著しい影響を与える事態は、現在のところ予測されていません。

以上